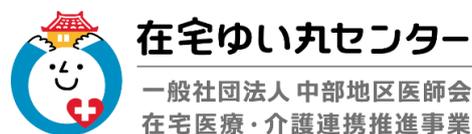


## 看取り支援多職種研修会 アンケート集計結果報告書



日時：令和6年12月19日（木）19：00～21：00

開催場所：会場結婚式場 N.B.C（沖縄市胡屋6-12-1）

テーマ：「地域に選ばれる施設になるには？～最後まで見守る力を育てる支援フロー、あります！～」

周知方法：開催案内文書の郵送、当センターHP掲載、メールリングリスト一斉送信、FAX送信

周知範囲：中部地区12市町村の高齢者入所施設 294か所

（特養、老健、有料、グループホーム、サ高住、小多機、看多機、等）

### ●参加者数

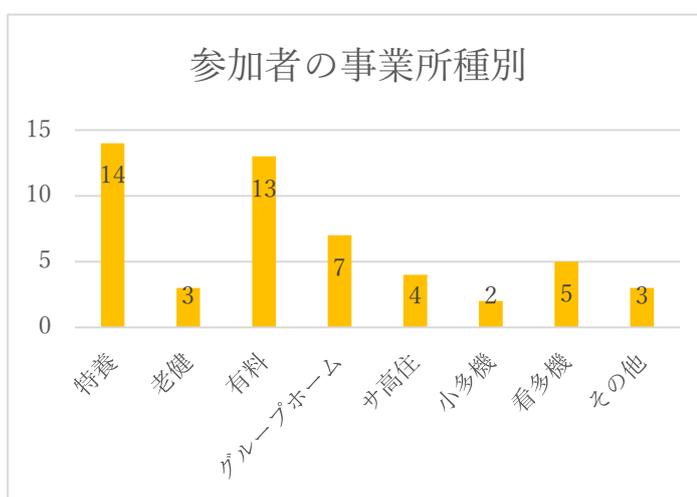
会場 参加人数：60名 アンケート回答数：51名（会場回答率：約85%）

研修関係者（座長、登壇、ワールドカフェブース担当、ファシリテーター）：11名

参加人数：60名  
アンケート回答率：85%

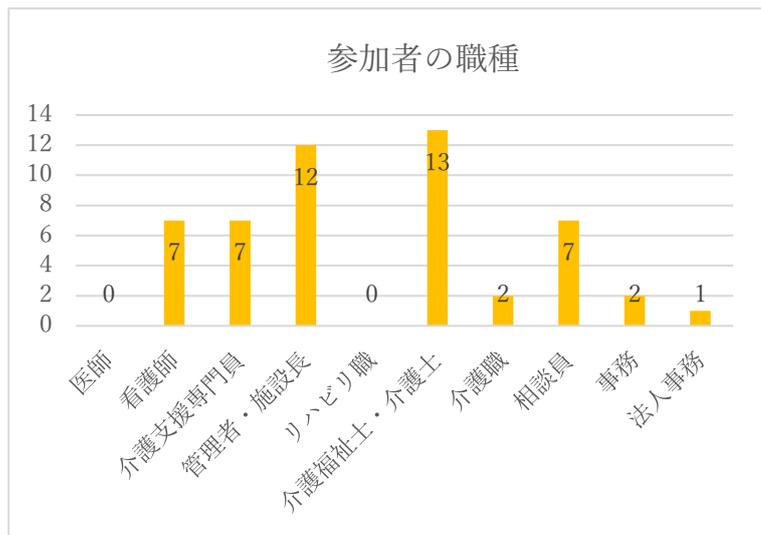
### ●参加者の事業所種別（n=51）

	数	割合
特養	14	27.5%
老健	3	5.9%
有料	13	25.5%
グループホーム	7	13.7%
サ高住	4	7.8%
小多機	2	3.9%
看多機	5	9.8%
その他	3	5.9%
計	51	100.0%



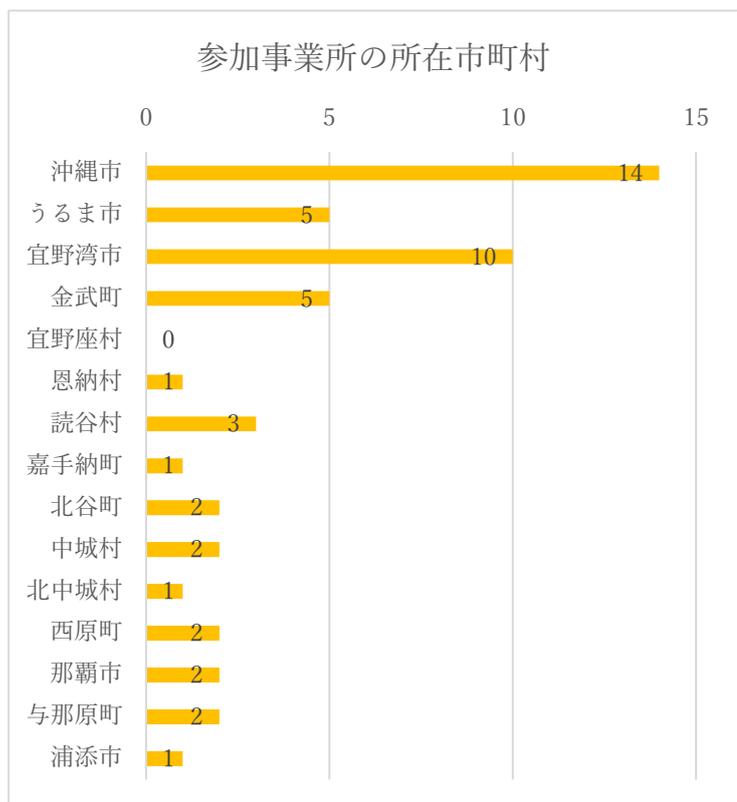
●参加者の職種 (n=51)

	数	割合
医師	0	0.0%
看護師	7	13.7%
介護支援専門員	7	13.7%
管理者・施設長	12	23.5%
リハビリ職	0	0.0%
介護福祉士・介護士	13	25.5%
介護職	2	3.9%
相談員	7	13.7%
事務	2	3.9%
法人事務	1	2.0%
計	51	100.0%



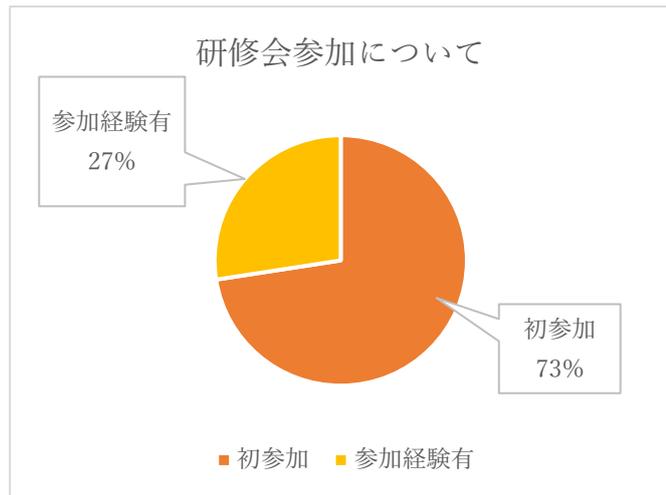
●参加事業所の所在市町村 (n=51)

	数	割合
沖縄市	14	27.5%
うるま市	5	9.8%
宜野湾市	10	19.6%
金武町	5	9.8%
宜野座村	0	0.0%
恩納村	1	2.0%
読谷村	3	5.9%
嘉手納町	1	2.0%
北谷町	2	3.9%
中城村	2	3.9%
北中城村	1	2.0%
西原町	2	3.9%
那覇市	2	3.9%
与那原町	2	3.9%
浦添市	1	2.0%
計	51	100.0%



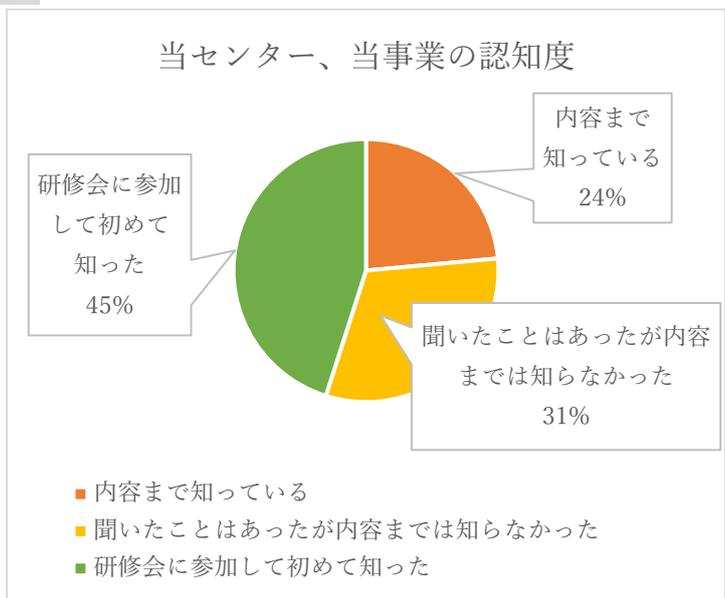
●研修会への参加について (n=51)

	数	割合
初めて参加した	37	72.5%
参加したことがある	14	27.5%
計	51	100.0%



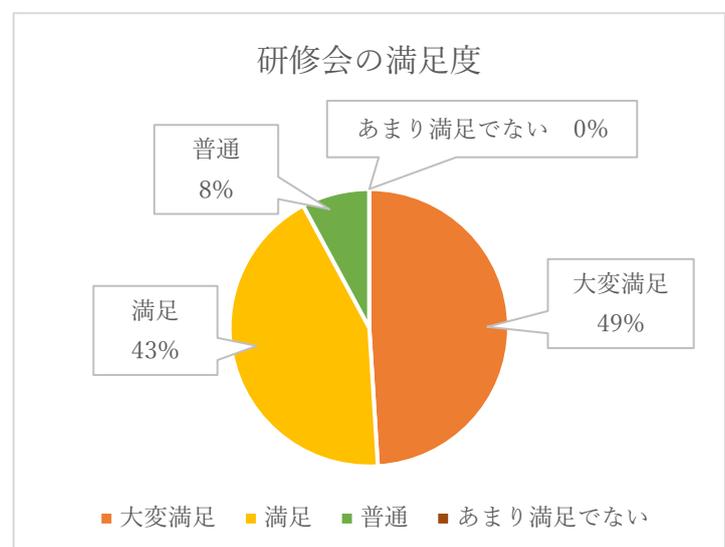
●当センター、当事業の認知度 (n=51)

	数	割合
内容まで知っている	12	23.5%
聞いたことはあったが 内容までは知らなかった	16	31.4%
研修会に参加して初めて 知った	23	45.1%
計	51	100.0%



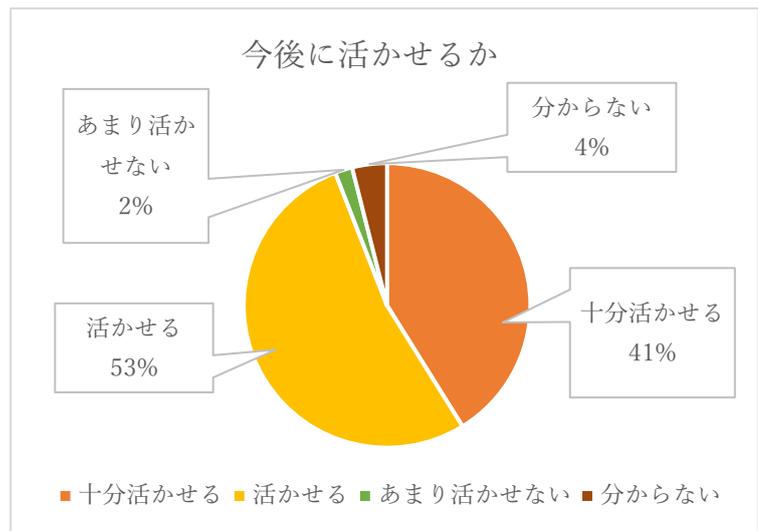
●研修会の満足度 (n=51)

	数	割合
大変満足	25	49.0%
満足	22	43.1%
普通	4	7.8%
あまり満足でない	0	0.0%
計	51	100.0%



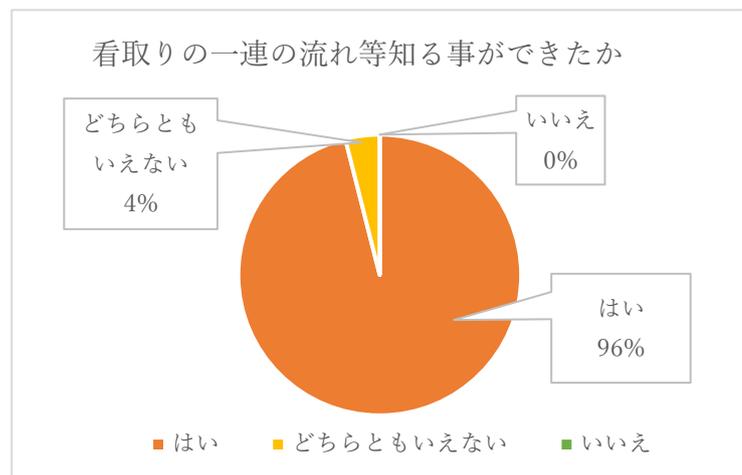
●今後の業務に活かせるか (n=51)

	数	割合
十分活かせる	21	41.2%
活かせる	27	52.9%
あまり活かせない	1	2.0%
分からない	2	3.9%
計	51	100.0%



●看取りの一連の流れ等知る事ができたか (n=51)

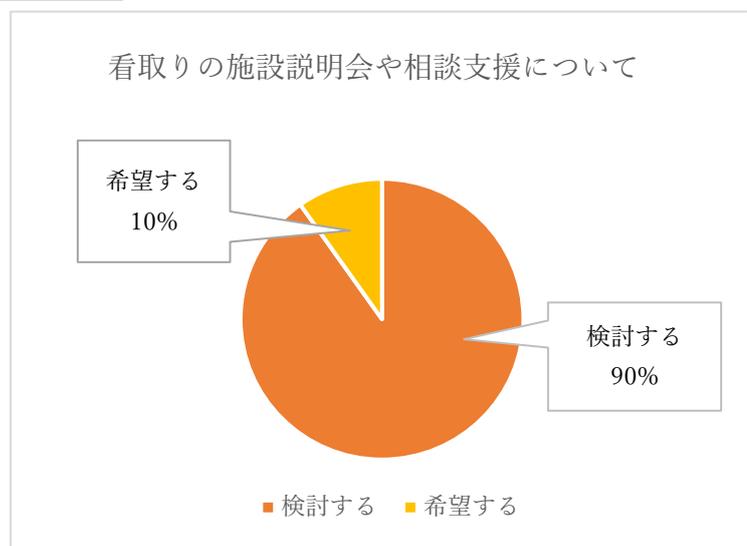
	数	割合
はい	49	96.1%
どちらともいえない	2	3.9%
いいえ	0	0.0%
計	51	100.0%



●施設説明会や相談支援について (n=51)

	数	割合
検討する	46	90.2%
希望する	5	9.8%
計	51	100.0%

内訳  
 ・特養 1  
 ・グループホーム 1  
 ・デイサービス 2  
 ・看多機 1



●記述式アンケート結果

【特に印象に残った内容、気づきのあった内容を教えてください。】

1	色んな方の意見が聞けた
2	職員の不安を緩和できる言葉を共有して、教えていただいた
3	多職種連携の充実
4	教育の大切さ
5	他の施設の方も同じ悩みを抱えていることが印象に残った
6	介護ロボットの導入が今まで気になっていて、 眠りスキャンを实际使用している施設の方の声が聞いて良かったです！
7	連携の大切さ。チームワーク
8	他職種、名刺交換、情報共有できて大変良かったです。
9	在宅で看取り段階に入っている方のショートステイを受け入れた。
10	他職種の役割の流れ
11	介護職の現場だけではなく、看取りに関する経営についても考える機会になった。
12	看取りをしてくれる医師を探すのが大変
13	看取りの時には誰でも不安になるしパニックになるから、その状態になったらとりあえず連絡し、1人で抱え込まないようにするという事
14	看取りを見える化をする。
15	第一発見者になった際の声掛けが大切であること
16	他事業さんの話を聞いてよかった
17	小規模の事業内容を知った。事例が勉強になった。
18	WEB 上に看取りのマニュアルがあることを知ることが出来ました。 他職種の役割も少し勉強になりました。
19	施設で看取りが出来る体制を進めていくに当たって具体的な相談ができた
20	本人の想いが大切
21	納得するまで話し合う
22	ご家族との接し方。ブリーフケア
23	色んな話を聞いて良かったです。
24	ショートステイでの看取り。その為には職員の考え、十分な情報共有が必須。
25	事例発表 亡くなった方が玄関から出られるときに入所者さんも見送ると聞いた時に、素敵だなと思った。うちの施設では、他の入所者が動揺してしまうからシートでみえないようにすると事務スタッフがいていたので。
26	最後を看取れる職種である事、最後を看取れた、選んでくれた、等の思いに切り替える事で怖い、不安に変える事が出来る。
27	看取りの経験が無い方は不安を訴え、経験のある方は、特別にやる事はない。連絡をしっかりとやれば大丈夫。と言っていたのが印象的でした。 看取りも生活の一部と仲間医師は仰ってました。
28	介護保険が算定できるかの回答は得られにくい 有料老人ホームの収入を考えると施設での看取りは難しい現状か。
29	事前の情報共有の大切さ

30	やってみなければわからない。
31	看取りで介護職の不安を解消するか、どう声掛けしたら安心できるなど
32	ブースが変わると、意見、回答がかわり良かったです。
33	経営者目線での看取りの考え方について
34	お看取りの方が今後迎える経過について、看護師だけでなく介護職員が安心して把握できる よう、数値を見える化しておく、オンコールの目安、ケアのものさしを職員間で統一して おくことは、やはり重要だと感じた。
35	利用者本人・家族への説明を色んな業種の色んな視点から事例を交えながら貴重な意見を いただき、大変参考になりました。
36	多事業所、多職種の方々の意見やアドバイスなど一気に聴けたこと。
37	穏やかな看取り
38	有料老人ホームのブース 鈴木先生のお話
39	みとりをするにあたって1番大切なのは医療も大事ですが本人様と家族様との関係作りか なと思いました。
40	施設に入ると入居者が保護的になるが、選択は自由なので関わる人で何にでもなると話を 聞いて自分も個別ケアに力を入れたい。
41	看取りきのかたの算定方法
42	看護多機能事業所での看護と介護の連携がとても参考になりました。
43	連携やどこに連絡すればいいかを明確にするフローチャートを作る。
44	突然死に直面した際に職員が利用者に対して1人で亡くなりたかったんだねという言葉が 印象的でした。私にはなかった見方だったと感じました。
45	看取りの時の他利用者との関わり方
46	尊厳という事についてや看取りにおける多職種連携についてなど悩みがあったが、少しで も看取り体制を作るための道しるべができた気がします。
47	最後のブースで話された鈴木大悟氏の話がとても衝撃的で考えさせられました。
48	エンゼルケアについて
49	施設では、介護士が看取りの場面に立ち合う時不安や怖いを感じるスタッフが多い。管理 者が日々の教育で看取りの勉強会、シミュレーションの場を設け経験の共有とやりがい を見いだす。 ショートステイで看取りを行い、家族から休む時間が出来たと感謝された事例の発表に感 銘を受けました。
50	同じ職種でも、事業や立場の違いなどによって、色んな視点がある事を実感した。
51	現場の職員へのグリーフケアなど事業所事に工夫が見えたので、今後の役になりそうです。

## ●結果、考察

高齢者の増加に伴い、看取りの場所の確保が課題となっており、高齢者施設における看取り体制のニーズがより一層高まっているが、看取りを経験した事のない施設は多く、「職員の看取りに対する不安感や恐怖心」「看取り体制を整えるための多職種連携に関する知識が不十分」等の声が多く聞かれる。本研修会では、参加者が看取りの経過や場面を時間軸で学び全体の流れをイメージでき、“看取りをやってみたい”“これならできるかも”と感じられる事を目的に開催した。

研修目的がぼやけないよう参加対象を施設関係者（管理者、相談員、看護師、介護士等）に限定し、さらに日頃の悩みや不安を少しでも解消に近づけるよう対話を行いやすいワールドカフェを採用した。研修関係者の協力により、60名の参加があった。

アンケート結果から、「大変満足」「満足」と回答した方が約92%、今後の業務に活かせると回答した方が約94%おり、満足度の高い研修内容であった事が伺える。さらに、看取りの一連の流れ等を知る事ができたと回答した方が約96%おり、研修目的を達成できたのではないかと。

多くの参加者から、特に印象に残った内容、気づきのあった内容について回答をいただく事ができた。アンケート結果及び各ブースの模造紙記録（次ページに掲載）を今後の活動にしっかりと役立て、まずは支援フロー（施設説明会・相談支援）を希望している数施設への支援活動に繋がっていきたい。

### ＼関係者のみなさま＼



### ＼ワールドカフェの様子＼



●ワールドカフェ 各ブースであがった質問一覧

<p>日頃の体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りを行うにあたり、大切なことは？</li> <li>・医療行為（点滴）が必要な時は、通所利用はできないのか？</li> <li>・看護や介護の役割は？</li> <li>・初めて看取りを行うにあたって、最初にやるべきことは？</li> <li>・看取りに向けての準備</li> <li>・看取りをオープンにする時の注意は？</li> <li>・入所後、吸引が必要になったが夜間は常勤看護師いない。退所させるしかないのか？</li> </ul>
<p>緊急時、看取り期の体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取り時の人員配置は？</li> <li>・夜間、休日（連休）等に死亡した場合の死亡診断をどのような方法で行っているのか？</li> <li>・看取りから元気になった場合の、外すタイミングは？</li> <li>・酸素が下がっている利用者に酸素量を増やしているが、本人にとっていい事なのか？負担をかけていないか？</li> <li>・責任の所在…管理者、Dr、看護師 どこに連絡すれば良いか？</li> <li>・施設とデイが離れているが看取りはどう対応する？</li> <li>・通所中に死亡した時の対応は？</li> <li>・看取りのタイミング 時期は？どう知るか？</li> <li>・最後の時 いつケアマネに連絡したらいい？</li> <li>・自分が夜勤の時に亡くなったら不安、怖い</li> <li>・看取りか病院受診なのかのタイミングが知りたい、他施設はどうしている？</li> </ul>
<p>家族対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りに切り替わるタイミングでの家族への説明時期。県外に住んでいる家族に理解してもらうには？</li> <li>・家族の受け入れや協力が得られない時は？</li> <li>・キーパーソンが中心になるが、他の家族の気持ちの違いをどうする？</li> <li>・家族の不安には？</li> <li>・家族の心構えについて 看取りの計画をどう伝えていくか？</li> <li>・家族は「ここで最期を」「でも全部やってほしい！」どうしたら…</li> </ul>
<p>関係者間の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員の不安取り除き方。どのように説明していけばいいのか？</li> <li>・怖いと思っている職員に分かってもらうためには？</li> <li>・施設の思い、家族の思い、家族間の思い ギャップをどう整えていくか？難しい。</li> <li>・フロー連絡先あるけど、一人で夜勤している時に何かあったらと思うと不安</li> </ul>
<p>看取り後の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンゼルケアは訪問看護でやっているの？</li> <li>・エンゼルケア、グリーンケアはどのようにやるの？タイミングは？</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りでの監査対応は？</li> <li>・外部からサービス入れるのが難しい</li> <li>・喀痰吸引研修3号とりたいけどとれない（料金面）</li> <li>・身寄りのない方のお看取り対応方法は？</li> </ul>